

# SCRIABINE

CHOSTA

第35回定期演奏会

EGER

ショスタコーヴィチ  
交響詩『十月革命』

レーガー  
バレエ組曲

スクリャービン  
交響曲第2番



KYOTO ART CENTER 京都芸術センター  
制作支援事業

(ヴァイオリン・ソロ：馬淵 清香)

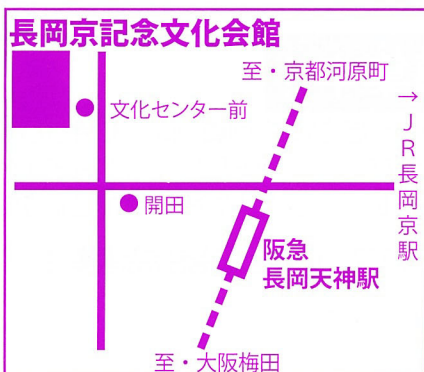
京都フィロムジカ管弦楽団

# KYOTO PHILOMUSICA

OWITSCCH

2014年6月15日(日)  
午後1時開場 2時開演  
(1時15分よりロビーコンサート開催)

指揮 柴愛



京都府  
長岡京記念  
文化会館

阪急・長岡天神駅下車 徒歩8分。  
JR・長岡京駅よりバス7分、「開田」  
または「文化センター前」下車すぐ。



前売券:800円 (当日券:900円) 全自由席

【チケット取り扱い】

京都芸術センター (窓口販売のみ10:00-20:00)

京都府長岡京記念文化会館、JEUGIA (三条本店5F、APEX弦楽器)

※ホームページでのチケット予約も可能です <http://www.kyotophilos.com/>

【お問い合わせ】 070-6506-4032 ticket@kyotophilos.com

- ・お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・乳幼児等就学前のお子様のご同伴、ご入場は固くお断りいたします。
- ・係員の指示に従っていただけない場合はご退場いただくことがあります。

# 京都フィロムジカ管弦楽団 第35回定期演奏会

魅力的でありながらも演奏機会が少ない作品を積極的に紹介してきた京都フィロムジカが、今回も聴き逃さないプログラムで皆様をお迎えます。新鮮な発見のある演奏会になるに違いありません。

1曲目はショスタコーヴィチの交響詩『十月革命』。十月革命とは、レーニンがソヴィエト政府を樹立した1917年の革命のことで、ショスタコーヴィチは20代・50代のときにもこのテーマで作曲していますが（交響曲第2番・12番）、『十月革命』は60代に書かれた作品です。晩年ならではの効果的なオーケストレーションによって、音の物語が展開します。

2曲目は20世紀ドイツの作曲家マックス・レーガーのバレエ組曲です。正確な情報はありませんが、日本初演の可能性もあります。レーガーの作品はいずれも、古典的な構築美と前衛的な和声の色彩感が見事に同居した魅惑的な作風を誇ります。このバレエ組曲は、豊潤な響きが様々に変化する華麗な逸品で、舞曲ならではの飛翔するような軽やかさも魅力です。

最後に演奏されるのはロシアが生んだ独創的な作曲家スクリャービン若き日の大作・交響曲第2番。冒頭で示された主題が、様々に姿を変えながら5楽章からなる曲全体に登場し、有機的なまとまりをもっています。一方で、スクリャービン独特の神秘的な和声も魅力です。交響曲を聴く醍醐味を独特の響きの中で味わえる稀有な傑作といえましょう。曲中でヴァイオリン・ソロを担当するコンサートミストレスには、前回定期演奏会で貴志康一『佛陀の生涯』で圧倒的なソロ演奏を聴かせて会場を魅了した馬淵清香氏を再度招聘します。大阪を中心にソリストやオーケストラ・プレイヤーとして活躍する名手です。

指揮は柴愛氏がフィロムジカ3度目の登壇。オペラからコンサートまで幅広く活躍する若手の実力者です。フィロムジカではこれまでに、誰もが知るベートーベンの演奏で耳の肥えたファンをうならせる一方、マニャールなどほとんど演奏されない作品からもその知られざる魅力を引き出してきました。とりわけ、作曲者の故郷ニュージーランド以外での初演となったリルバーン『島の歌』の名演は、名匠・柴愛の底力を見せつけた“事件”でした。今回の知られざる傑作たちから柴氏がどのような魅力を引き出してくれるか、楽しみでなりません。特にレーガー作品では、オーストリアなどヨーロッパでも活動する柴氏ならではの、本場仕込みの楽しい舞曲を聴かせてくれることでしょう。

指揮 柴愛（しば あい）

同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏バイオリン専攻 卒業。バイオリンを梅原ひまり氏に師事。

在学中より、ザ・カレッジオペラハウス、関西二期会、関西歌劇団などで、飯守 泰次郎、牧村 邦彦氏らのアシスタントを務める。

これまでに、モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」、ドニゼッティ「ドン パスグアーレ」・「愛の妙薬」、フンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」などを指揮。

また、2014年ニューイヤーオペラファミリーコンサートではアンサンブル神戸と共演するなど指揮者としての活動の場を広げている。

2010年ウィーン国際音楽セミナーにおいてAndres Orozco-Estrada氏に師事、ディプロムを取得。

これまでに、指揮を高階正光・Klaus Hoevermann・Niels Muus・Alfred Eschweの各氏らに師事。

## 管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本来の出身地は様々であり、関東や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

## 新入団員大募集中！

～私たちと一緒に演奏しませんか？ まずはお気軽に見学にお越しください。団員一同、お待ちしております。～  
私たち京都フィロムジカ管弦楽団では、第36回定期演奏会で、ショスタコーヴィチの大作「交響曲第12番」の演奏を目指しており、それに向けて団員を増強しています。「一緒に演奏したい！」という皆様のご参加をお待ちしています。

### ●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス（弦楽器急募！！）

オーボエ・ファゴット・ホルン・打楽器

※募集パートは随時変わることがありますのでホームページもご覧ください。

〔参加資格〕 練習に出席できること。年齢制限はありません。学生の方の参加も歓迎します

〔練習日時〕 毎週日曜日（原則午後1時～午後5時） 春と秋に練習合宿（大津市内）

〔練習場所〕 京都芸術センター、河原町丸太町・荒神口周辺・伏見など京都市内各所のほか、大津市など

〔諸費用〕 活動費ひと月3000円、合宿費10000円程度、演奏会参加費20,000～30,000円（学生は半額）

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: [recruit@kyotophilo.com](mailto:recruit@kyotophilo.com)

Webサイト (<http://www.kyotophilo.com/>) では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

<お知らせ> 京都フィロムジカ管弦楽団 第36回定期演奏会：2015年1月18日（日）びわ湖ホール